

PRESS RELEASE

2023年4月28日

バンダイ災害時こども応援活動
「被災地での心のケアを願ったオリジナルおもちゃ」
すいた
大阪府吹田市に災害備蓄品の寄付を実施

株式会社バンダイ(本社:東京都台東区 代表取締役社長:竹中一博)は、サステナビリティプロジェクト「未来・クリエイション」(詳細三頁)を推進し、その活動の一環として、災害時の子ども支援やおもちゃを通じた心のケア等を目的とした「バンダイ災害時こども応援活動」に取り組んでいます。

この度、本活動に賛同いただいた大阪府吹田市(市長:後藤圭二)に対し、被災地における子どもたちの心のケアを目的に企画・製造したオリジナルのおもちゃを、災害備蓄品として寄付いたしました。また、今回の寄付に伴い、2023年4月26日(水)に吹田市長 後藤圭二様より感謝状を贈呈いただきましたので、ここでご報告します。



▲4月26日(水)に吹田市にて開催された寄付に対する感謝状贈呈式の様子
(写真右:吹田市 後藤市長、左:バンダイ サステナビリティ担当役員 藤田取締役)

提供するおもちゃは、被災地における子どもたちへの心のケアを願ったバンダイ社員のアイデアをきっかけに、子ども支援専門の国際団体である公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(本部:東京都千代田区 理事長:井田純一郎)の知見などをもとに誕生しました。バンダイの「防災ナビゲートキャラクター」として子どもたちを応援するために生まれたオリジナルキャラクター「おとどけ!コロコロパワーズ!」が、避難生活の中で、子どもに寄り添う「話し相手」、「仲間」として子どもたちに安らぎを与えます。

バンダイは、長年おもちゃの企画・製造を行ってきたノウハウなどを生かし、予期せぬ災害により不安や困難にさらされる子どもたちが少しでも早く笑顔を取り戻すために、今後も自治体や災害避難所等に向け、オリジナルおもちゃの提供を積極的に行って参ります。

■吹田市 後藤圭二市長コメント

危機管理とおもちゃは一見繋がらないようですが、そこに着目した発想がとても良いと感じました。災害発生時にはまず生活必需品が必要となりますが、子どもたちの健全な精神状態を保つためには、日々行っていた趣味や遊びに没頭するような、日常に当たり前であった時間が必要となるのではないのでしょうか。

そういった日常を少しでも早く取り戻すため、寄付されたおもちゃは大いに役立つものだと考えています。

【寄付概要】

① 空気ビニール人形 1,000個

空気を入れ膨らませて遊ぶ人形です。狭い避難所生活の空間でも空気を抜けば邪魔にならず、クッション性もあるため小さなお子さまでも安心して遊んでいただけます。



② スクイズ人形 5,000個

ぎゅっと握れる柔らかさの人形です。手のひらサイズで場所を取らずに遊べます。



■「バンダイ災害時こども応援活動」及び支援品についての詳細は以下よりご覧ください。

<https://www.bandai.co.jp/csrkids/news/?tdate=2022-4-25-481>

<https://www.bandai.co.jp/corporate/column-dayori/03/>



未来・クリエイション

■「未来・クリエイション」とは

「未来・クリエイション」はバンダイとBANDAI SPIRITS共通の企業スローガン「夢・クリエイション」を未来につなぐサステナビリティプロジェクトです。

役員・社員一人ひとりが、当事者意識を持ってサステナビリティに向き合うべく、全社体制で取り組む3つの目標を設定し、それを「会社」「部門」「役員・社員」に分けて各々が役割を達成することを目指します。

公式ページ <https://www.bandai.co.jp/miraicreation/>

【支援団体・自治体関係者からのお問い合わせ】

株式会社バンダイ プロダクトマネジメント部 サステナビリティ窓口 csr-info@bandai.co.jp

株式会社バンダイ公式サイト <https://www.bandai.co.jp/>

株式会社バンダイ サステナビリティサイト <https://www.bandai.co.jp/csrkids/>

バンダイ・BANDAI SPIRITS広報公式Twitter https://twitter.com/bandai_spirits

※プレスリリースの内容は 2023年4月28日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。